

イザヤ書
聖徒伝 188

砕かれた者の 心を生かす方

イザヤ書56～57章

あらゆる民の祈りの家

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. イスラエルの復縁 56:1~8

II. 悪人への非難・義人への憐れみ
56:9~57:21

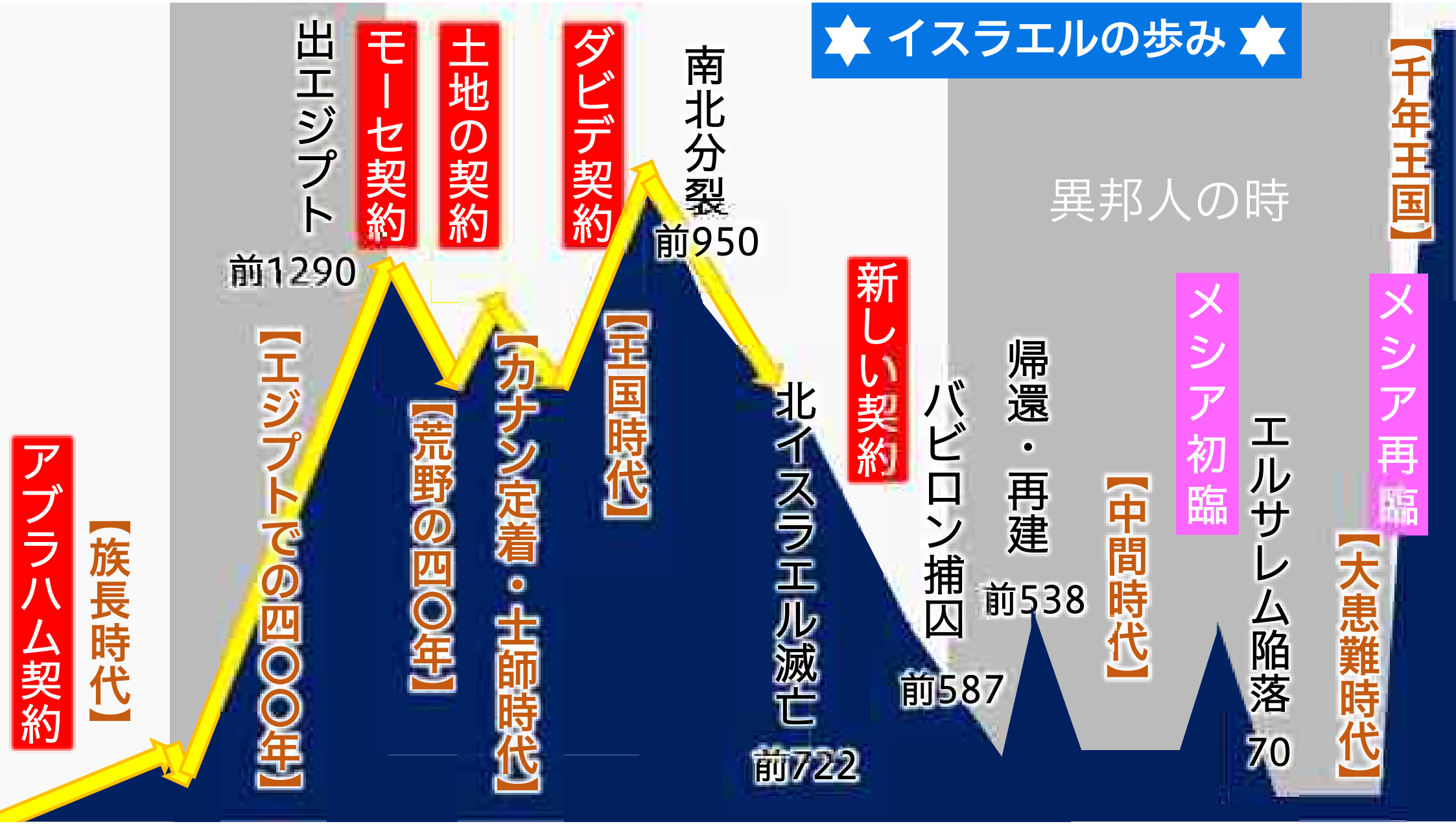
III. まとめと適用

試練の中で

主への信頼だけが強まるように



★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

前1290

【エジプトでの四〇〇年】

出エジプト

モーセ契約

【荒野の四〇年】

土地の契約

【カナン定着・士師時代】

ダビデ契約

【王国時代】

前950

南北分裂

前722

北イスラエル滅亡

新しい契約

前587

バビロン捕囚

前538

帰還・再建

【中間時代】

メシア初臨

エルサレム陥落 70

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

異邦人の時

イザヤ書の構成 と イザヤの生涯

前半

■北王国は滅亡。南王国も危機に。

→確定している裁き・バビロン捕囚

裁きの警告

後半

■晩年のイザヤが告げたのは、捕囚を前提とした、解放の希望。

→究極の希望が、メシアによる神の王国

回復の希望

イザヤ書後半の構成

- ① 40～48章 イスラエルの戦いの終わり
→バビロン捕囚からの解放

メシアの影
ペルシャ王キュロス

- ② 49～57章 イスラエルの咎の赦し
→イスラエルの最終的回復

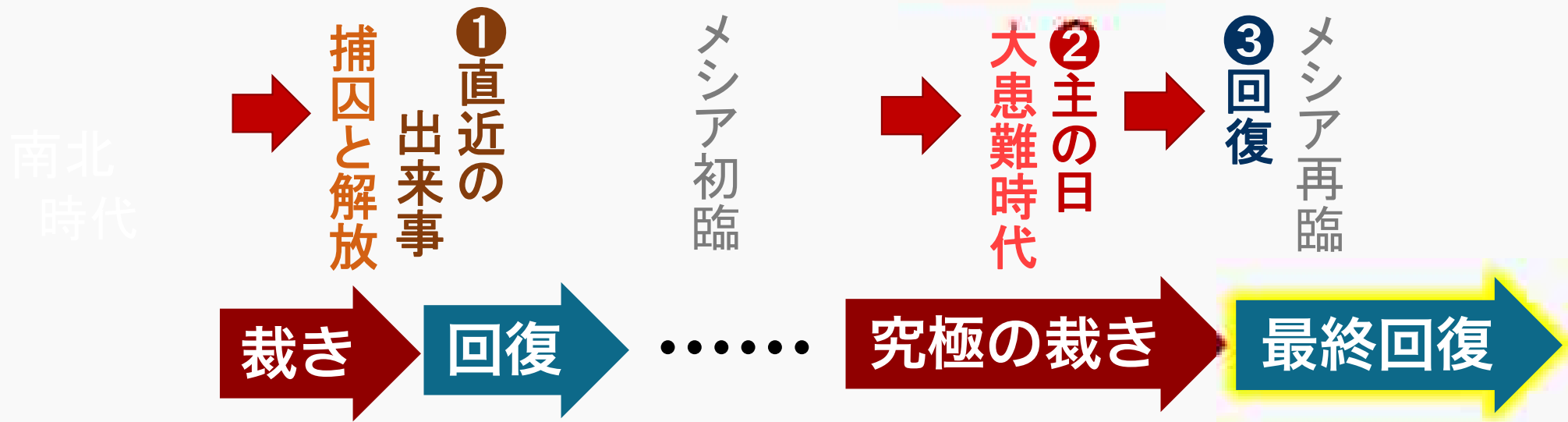
メシア

- ③ 59～66章 イスラエルが受けた罪の代価

後半の中心が、イスラエルを贖うメシア

預言書の構成





預言はフラクタルでシームレス

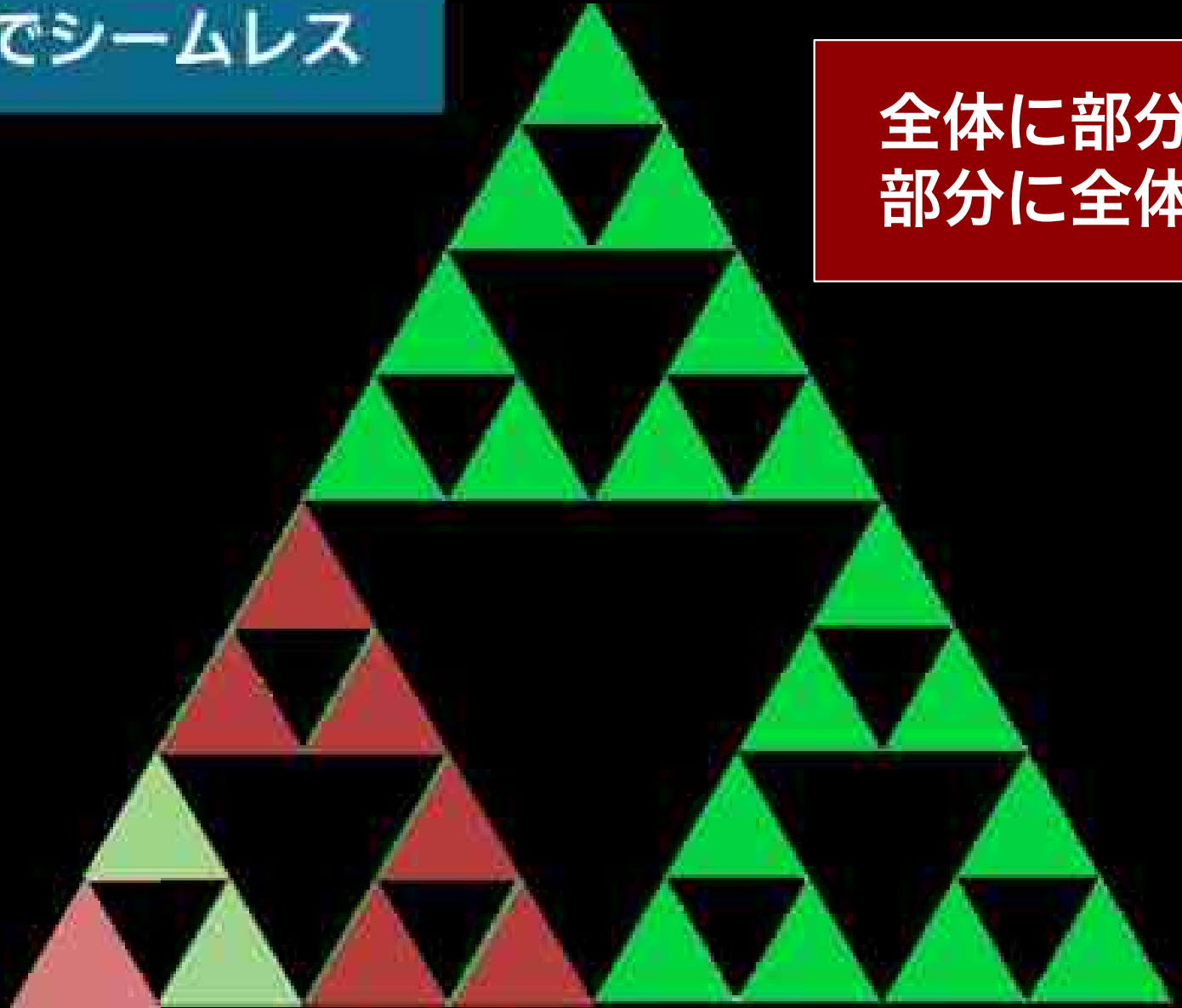
全体に部分
部分に全体

最終的回復 →

最後の裁き →

一時的回復 →

一時的裁き →



★終末MAP★

【パラダイス】



【天上の礼拝】



【新天新地】



【千年王国】

キリストの再臨

教会の携挙

聖霊降臨



【教会時代】



【大患難時代】



【シエオール(陰府)】

白い御座の裁き



【ゲヘナ(地獄)】





Ⅰ. 除外された民と異邦人の救い

イザヤ書56章1～8節

荒野の泉

勧告 神の救いと義 イザヤ56:1

【主】はこう言われる。「公正を守り、正義を行え。わたしの救い*が来るのは近いからだ。わたしの義*が現れるのも。」

*メシアによる救い、メシアによる義

➔最終的には、メシアによる神の王国



シナイ山

勧告 神の救いと義 イザヤ56:2

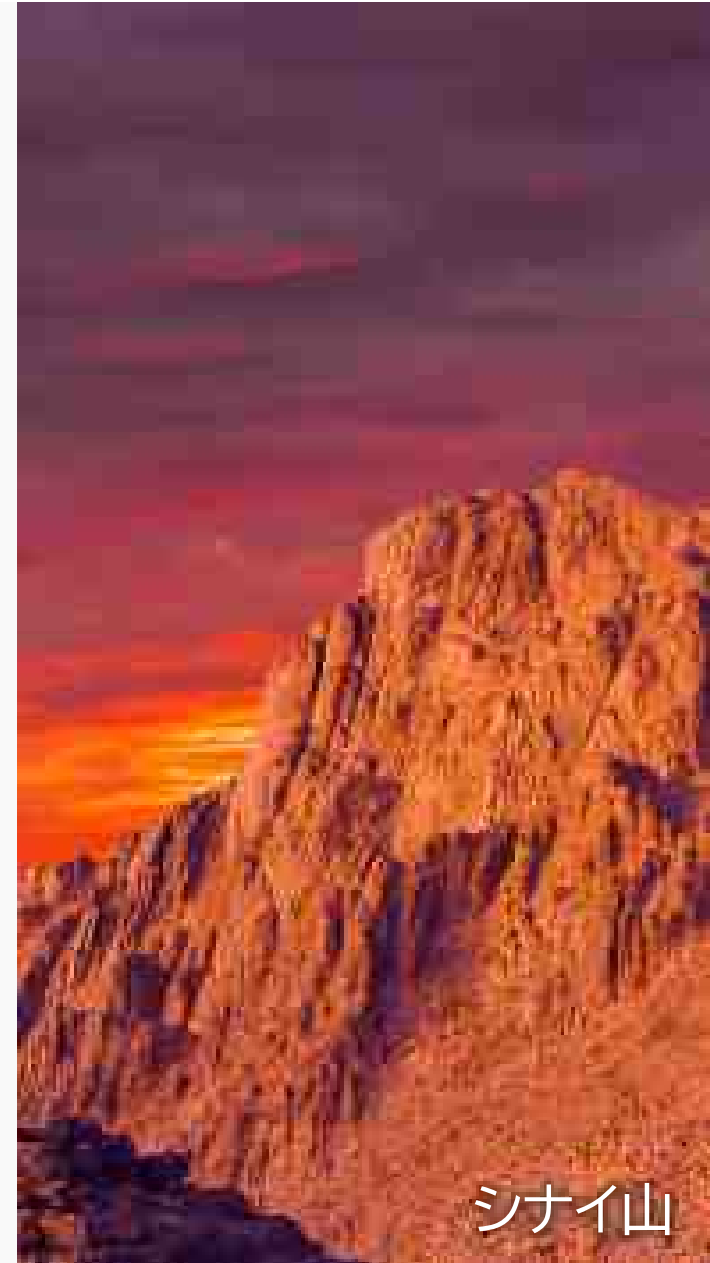
幸いなことよ。安息日*を守って、これを汚さず、どんな悪事からもその手を守る人は。このように行う人、このことを堅く保つ人の子は。

*千年王国では再び義務に。(イザヤ66:23)

■ 律法時代 → 安息日はイスラエル最大の責務

■ 教会時代 → 曜日に縛られず定期的に集う
(異邦人伝道が先立って進む)

■ 千年王国 → 祭司イスラエルの回復
(すべての民が安息日を覚える)



シナイ山

勧告 宦官の嘆き イザヤ56:3

【主】に連なる異国の民は言うてはならない。
「【主】はきっと、私をその民から切り離される」と。宦官も言うてはならない。「ああ、私は枯れ木だ」と。

*アンモン人、モアブ人も(申23:3)

➔バラムを通してイスラエルを呪った

*宦官は主の集会に加われない(申23:1)

■呪われた者たちも信仰のゆえに救われ、
共に礼拝をささげられるのが、千年王国。



宣告 宦官への祝福 イザヤ56:4~5

なぜなら、【主】がこう言われるからだ。
「わたしの安息日を守り、わたしの喜ぶことを選び、わたしの契約を堅く保つ*宦官たちには、わたしの家、わたしの城壁の中で、息子、娘にもまさる記念の名を与え、絶えることのない永遠の名を与える。」

*千年王国における信仰者の姿

■律法では呪われた宦官ですら、信仰と恵みにより、永遠に名を刻まれる。

※エチオピアの宦官の救い(使徒8章)



宣告 異国の民への祝福 イザヤ56:6~7

また、【主】に連なって主に仕え、【主】の名を愛して、そのしもべとなった異国の民が、みな安息日*を守ってこれを汚さず、わたしの契約を堅く保つなら、わたしの聖なる山*に来させて、わたしの祈りの家で彼らを楽しませる。彼らの全焼のささげ物やいけにえは、わたしの祭壇の上で受け入れられる。なぜならわたしの家は、あらゆる民の祈りの家と呼ばれる*からだ。

*千年王国での安息日 *エルサレム

*宮きよめで主イエスが引用(マタイ21:13)



宣告 さらに集められる イザヤ56:8

——イスラエルの散らされた者たちを集める方、【神】である主のことば——
すでに集められた者たちに、わたしはさらに集めて加える*。」

- 神の国には、イスラエルの残れる者に加えて、異邦人信者も招かれる*。





II. 悪人への非難・義人への憐れみ

イザヤ書56:9～57:21

荒野の道

イザヤ書56:9～57:21

- ① 56:9～12 …指導者への非難
- ② 57:1～2 …義人の状況
- ③ 57:3～13 …悪人の状況
- ④ 57:14～19 …義人への憐れみ
- ⑤ 57:20～21 …悪人への非難

義人には憐れみ、悪人には裁きが下る



指導者

惰眠 イザヤ56:9～10

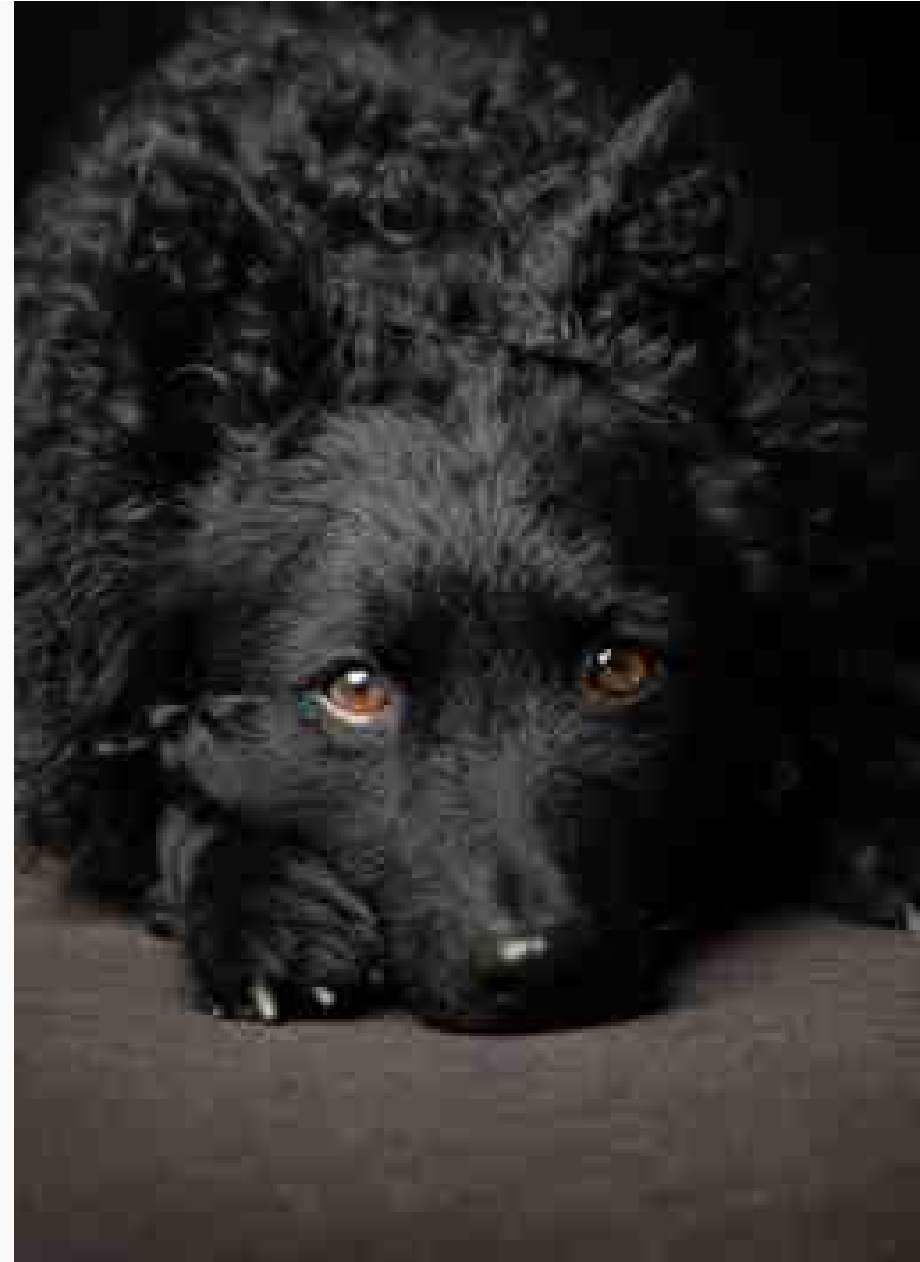
野のすべての獣*よ。やって来て貪り食うがよい。林の中のすべての獣*も。

神の見張り人*は目が見えず、みな何も知らない。彼らはみな口のきけない犬*、ほえることもできない。あえいで、横になり、眠りを貪る。

*異邦人の侵略者

*役立たずの見張り人、牧羊犬

➡イスラエルの指導者

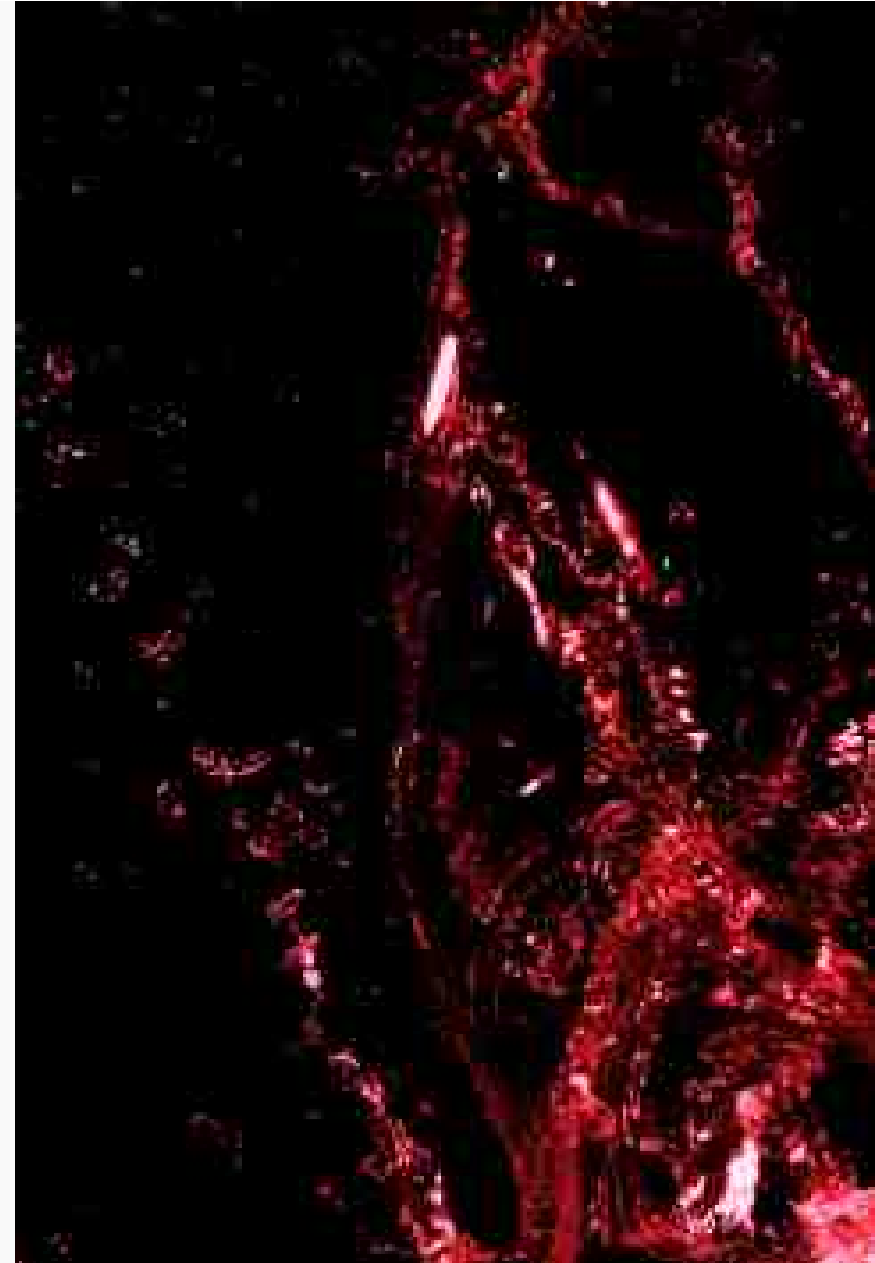


指導者 貪欲 イザヤ56:11~12

この犬どもは貪欲で、足ることを知らない。彼らは牧者なのに、悟ることがない。だれもがみな、自分勝手な道に向かって行く。一人残らず、自分の利得に。

「やって来い。ぶどう酒を持って来るから、強い酒を浴びるほど飲もう。明日も今日と同じだろう。もっと、すばらしいかもしれない。」

「イザヤ53:6 私たちはみな、羊のようにさまよい、それぞれ自分勝手な道に向かって行った。」



義人 義人の苦難 イザヤ57:1~2

「義人は滅びる*が、心に留める者はいない。誠実な人は取り去られる*が、気づく者はいない。義人は、わざわざを前にして取り去られる*。

その人は平安に入り、まっすぐに歩む人は、自分の寝床で休むことができる。

*南北時代、残れる信仰者は苦しんだ。

➡厳しく迫害されたのは預言者

*例)大洪水前の義人、捕囚前の預言者

➡究極が、大患難時代の前の携挙



悪人 靈的姦淫の子孫 イザヤ57:3~4

しかし、あなたがた、女ト者の子ら、姦夫と遊女の子孫よ*。ここに近寄れ。

あなたがたは、だれをからかい、だれに向かって口を大きく開き、舌を出すのか。あなたがたは背きの子、偽りの末裔*ではないか。

*呪術、偶像礼拝に染まった者の子孫

*神に敵対する悪魔の側につく者

「まむしの子孫たち、だれが、迫り来る怒りを逃れるようにと教えたのか。マタイ3:7」



悪人 靈的姦淫 イザヤ57:5～6

あなたがたは、**檜の木***の間や、青々と茂る
あらゆる**木の下***で、身を焦がし、谷や、岩
の裂け目で**子どもを屠っている***ではないか。

谷川の滑らかな石があなたの分、それら、
それらこそが、あなたの受ける割り当て。それらに、
あなたは**注ぎのぶどう酒を注ぎ**、穀
物のささげ物を献げているが、こんな物で、
わたしが慰められるだろうか。

*カナン土着の樹木礼拝 *モレク神礼拝



悪人 高きところ イザヤ57:7

そびえる高い山の上に*、あなたは寢床を設け、そこにも上って行って、いけにえを献げた。

あなたは、扉と柱のうしろに、自分を記念する像を置いた。あなたはわたしを捨てて裸になり、そこに上って自分の寢床を広げ、彼らと契りを結び、彼らの寢床を愛し、彼らの象徴物を見た。

*高きところ …高台に偶像の祭壇が!!



悪人 偶像の巡礼者 イザヤ57:9~10

あなたは油を携えて王*のところまで旅し、香料を増し加え、使者たちを遠くまで送り出し、よみにまでも下らせた。あなたは、長い旅に疲れても、『あきらめた』とは言わなかった。あなたは元気を回復し、それで弱らなかった。

*モレク(王) →モレク神のことか？

「わざわざ、偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちは一人の改宗者を得るのに海と陸を巡り歩く。そして改宗者ができる、その人を自分より倍も悪いゲヘナの子にするのだ。マタイ23:15」



悪人 神の沈黙 イザヤ57:11~12

あなたは、だれにおじけ、だれを恐れて、まやかしを言うのか。あなたはわたしのことを思い出さず、心にも留めなかった。わたしが久しく黙っていたので、わたしを恐れないのではないか。

わたしは、あなたの義のわざ*と、あなたの行いの数々*を告げよう。しかし、それらはあなたにとって役には立たない。

*人は自分の行いでは義を得られない。

主が沈黙を破り、裁きをくだされる時は来る



荒野の岸壁

悪人 虚しい偶像 イザヤ57:13

あなたが叫ぶとき、あなたが集めたものども*に、あなたを救わせよ。風が、それらをみな運び去り、もやがそれらを連れ去ってしまう。しかし、わたしに身を寄せる者は、地を受け継ぎ、わたしの聖なる山*を所有することができる。

*偶像

*聖なる都エルサレム

偶像は消え去り
真実だけが永遠に残る



義人 先駆者 イザヤ57:14

——主は言われる——盛り上げよ。土を盛り上げて、道を整えよ*。わたしの民の道から、つまずきを取り除け。」

*王なるメシアの道ぞなえをせよ

➡バプテスマのヨハネが果たした
「ルカ3:3 ヨハネはヨルダン川周辺のすべての地域に行って、罪の赦しに導く悔い改めのバプテスマを宣べ伝えた。」



義人 砕かれた人 イザヤ57:15

いと高くあがめられ、永遠の住まいに住み、その名が聖である方が、こう仰せられる。「わたしは、高く聖なる所に住み、砕かれた人、へりくだった人とともに住む*。へりくだった人たちの霊を生かし、砕かれた人たちの心を生かすためである。

* 苦難を生きた、残れる信仰者たち。

➡ 究極が、メシア、主イエス



義人 神の怒り イザヤ57:16~17

わたしは、永遠に争うことはなく、いつまでも怒ってはいない。わたしから出た霊が衰え果てるからだ。わたしが造ったいのちの息が*。

彼の不正な利得の咎のために、わたしは怒った。わたしは顔を隠して彼を打ち、そして怒った。しかし彼はなお背いて、自分の思う道を行った。

*人の命は有限であるがゆえに

➔命が果てれば、おのずと滅ぶ

主に背く者は裁きを免れ得ない



義人 回心と癒やし イザヤ57:18~19

彼の道を見たが、それでもわたしは彼を癒やす。わたしは彼を導いて、彼とその嘆き悲しむ者たちに、慰めを報いる。

わたしは唇の実を創造する者*。平安あれ。遠くの者にも近くの者にも平安あれ。わたしは彼を癒やす。—【主】は言われる—

*悔い改めに導かれる方

■ イスラエルの残れる信仰者は、悔い改め、最終的な民族的救いに至る。



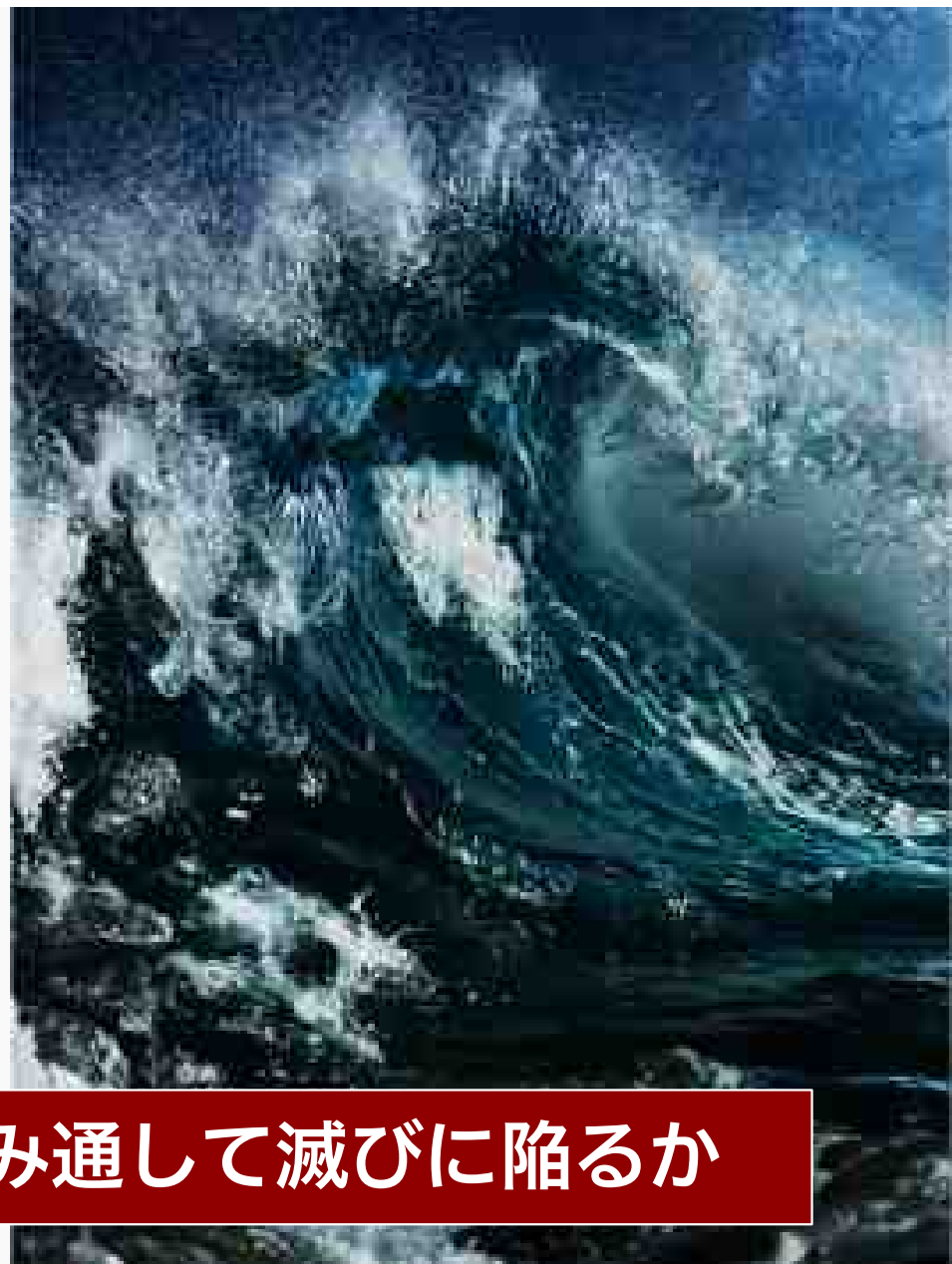
悪人 末路 イザヤ57:20~21

しかし、悪しき者は荒れ狂う海のようなだ。まことに、それは鎮まることができず、その水は海草と泥を吐き出す。

悪しき者には平安がない。——私の神はそう仰せられる。」

「箴4:16 まことに、彼らは悪を行わなければ眠れず、人をつまずかせなければ、その眠りが奪われる。」

悔い改めて平安に至るか 拒み通して滅びに陥るか





Ⅲ. まとめと適用

試練の中で主への信頼だけが強まるように

千年王国における安息日

「【神】である主はこう言われる。「内庭の東向きの門は、仕事をする六日間は閉じられるが、**安息日**には開けられなければならない。また、新月の祭りの日にも開けられなければならない。エゼキエル46:1」

→千年王国のエルサレムの門は**安息日**には開けられる。

「新月の祭りごとに、**安息日**ごとに、すべての肉なる者がわたしの前に来て礼拝する。—【主】は言われる— イザヤ66:23」

→千年王国のエルサレムでは、**安息日**ごとに礼拝がささげられる。

千年王国は、罪による損失の回復期間

天地創造

創世記1章1節

地の再創造(エデン)

創世記1章3〜2章3節

天使の
墮落

最初のアダム
人の墮落

キリストの十字架

最後のアダム
キリストの
再臨

キリストによる
最後の裁き

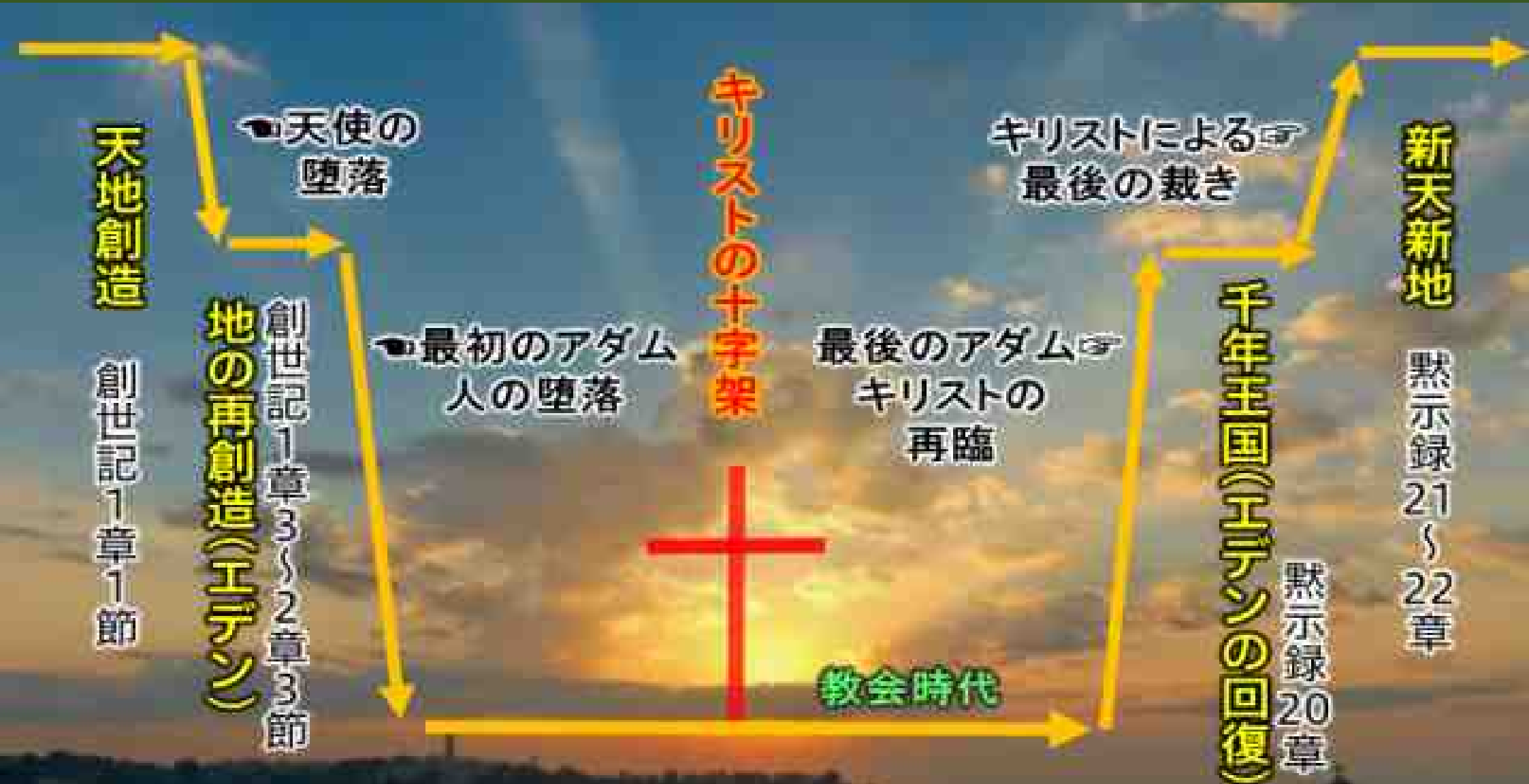
教会時代

千年王国(エデンの回復)

黙示録20章

新天新地

黙示録21〜22章



千年王国は、罪による損失の回復期間

■ 千年王国で回復されるもの

➔ アダムの子によって失われた、**エデンの園**

➔ 祭司の民・イスラエルの罪によって失われた、あるべき**祭司**

■ 教会時代は、異邦人の救いが先行。➔安息日も免除。

■ 回復したイスラエルが、人類の祭司としての役割を完全に果たす。

➔ 全人類が、安息日を守り、主を礼拝する。

■ 新天新地は永遠の安息。

➔ 太陽も月もなく、神の栄光にすべて満たされている。

➔ メシアがご自身が神殿であり、神殿も祭壇もない。

悪しき者の特徴・まとめ

- 真実に対して、霊の目も口も閉ざされ、惰眠をむさぼっている。
- 貪欲で足ることを知らず、指導者でも悟ることがない。
利得を求め、自分勝手な道を歩む。明日も今日と同じと思っている。
- 背きの子、偽りの末裔。欲望に身を任せ、弱者に犠牲を強いる。
- 偶像礼拝者。悪魔と契りを結び、交わり、愛する。
多大な犠牲を払って、偶像に献げる。
長旅をし、死の危険をおかしても、偶像に仕えることは厭わない。
- 鎮まることなく、平安がない。

何より、神への恐れがない

善人の特徴・まとめ

- 主に従うがゆえに、世で苦難にあう。時に命まで失う。
- 最も厳しい災いを前にして、地上から取り去られる。
例) 大洪水前の聖徒、捕囚前の預言者…。
→ 究極が、大患難時代の前に携拳される真の信者たち
- 平安の内に、主の道をまっすぐ歩む。
- 砕かれ、へりくだり、神に心を生かされる。
唇の実を結ぶ(悔い改める)。主を信頼して神の怒りを免れる。

主を恐れ、信頼する者には、永遠の平安が与えられる

★ 主に従う者には、主が与える試練がある ★

- 56～57章と同様、預言書も詩篇も悪の描写に多くを裂く。福音書も書簡の内容も、偽りの教え、偽善者への警告が最多。
- 人は皆、罪人で、悪魔が支配する世界には、悪が満ちている。立ち返った信仰者には、厳しい戦いは免れ得ない。聖徒たちは皆、世にあって厳しい試練をくぐり抜けた。
- 取り去ってくださいと祈ってなお、叶えられないならば、主の御心と受け入れるしかない。主が助けと力を与えてくださる。最も厳しい世の裁きの時代を、主は逃れされると約束された。

試練の中で、主への信頼だけが強まるよう、求め祈ろう

信仰者への試練と励まし

■ ペテロの手紙第一4:12～13

愛する者たち。あなたがたを試みるために あなたがたの間で燃えさかる試練を、何か思いがけないことが起こったかのように、不審に思っ**て**はいけません。

むしろ、キリストの苦難にあずかればあずかるほど、いっ**そ**う喜ばなさい。キリストの栄光が現れるときにも、歡喜にあふれて喜ぶためです。

信仰者への試練と励まし

■ペテロの手紙第一4:14~16

もしキリストの名のためにののしられるなら、あなたがたは幸いです。栄光の御霊、すなわち神の御霊が、あなたがたの上にとどまってくださるからです。

あなたがたのうちのだれも、人殺し、盗人、危害を加える者、他人のことに干渉(支配)する者として、苦しみにあうことがないようにしなさい。

しかし、キリスト者として苦しみを受けるのなら、恥じることはありません。かえって、このことのゆえに神をあがめなさい。

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

しゅ しんらい ふか はげ ま たたか
主への信頼を深めるほどに、激しさを増す戦いがあります。

あくま ひと ところ すき つ ふあん やみ ひ こ
悪魔は、人の心の隙を突き、不安の闇に引きずり込もうとします。

しれん なか しゅ しんらい つよ もの
試練の中で、主への信頼だけを強めていくことができますように。

う くだ わたし ところ みたま い
打ち砕かれた私の心を、御霊によって生かしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」